

**製品名: HOXA9 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe87106**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000, IP 1:50-1:100
分子量	Calculated MW:30 kDa; Observed MW:30 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	HOXA9
別名	HOX1; ABD-B; HOX1G; HOX1.7
遺伝子ID	3205
SwissProt ID	P31269
免疫原	ヒト HOXA9 の合成ペプチド

**背景**

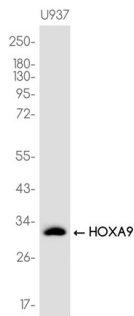
脊椎動物では、ホメオボックス遺伝子と呼ばれる転写因子群をコードする遺伝子は、4本の別々の染色体上のA、B、C、Dというク

ラスターに存在します。これらのタンパク質の発現は、胚発生中に空間的および時間的に制御されています。この遺伝子は 7 番染色体上の A クラスターの一部であり、遺伝子発現、形態形成、および分化を制御する可能性のある DNA 結合転写因子をコードしています。この遺伝子は、ショウジョウバエの abdominal-B (Abd-B) 遺伝子と非常に類似しています。この遺伝子と NUP98 遺伝子の融合を引き起こす特定の転座イベントは、骨髄性白血病の発生と関連付けられています。この遺伝子と上流のホメオボックス A10 (HOXA10) 遺伝子の間には、リードスルー転写が存在します。[RefSeq 提供、2011 年 3 月]

## 研究分野

-

## 画像データ



HOXA9 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用して U937 細胞抽出物をウェスタンブロット分析しました。